

# 民生常任委員会

委員長 松井 岑 雄

## 【一般会計】

**問** 保育所英語講師派遣事業の実施状況は？

**答** 1保育所当たり、月に2回、全保育所で実施している。

**問** 生活保護の申請件数、却下した件数、相談したが申請には至らなかった件数は何件あったか？

**答** 申請件数は15件、そのうち却下したものは1件である。また、相談件数は延べ37件で実数としては32件であった。

## 【国民健康保険事業特別会計】

**問** 医療費の総額は減少しているが、一人当たりの医療費は増加している。その要因は何か？

**答** 本町は、医療費全体に占める入院医療費の割合が高く、その傾向が一層顕著となったことから、被保険者数が大きく減少している中、医療費の総額は減

少したものの、一人当たりの医療費は高くなったものと考えている。

## 【介護保険事業特別会計】

**問** 認知症を患った独居の方に対し、包括的な相談体制はどのようなになっているのか？

**答** 地域包括支援センター内に地域支援推進員を配置しており、認知症についての総合相談を受けている。

**問** 要支援者へのサービスが、一部、介護予防給付から総合事業へと移行されたが、その質に低下はなかったか？

**答** 訪問型サービスについて、これまででは、身体介護の有無に関わらず、一律のサービスを提供してきたが、総合事業では、生活援助のみを必要とする方について、基準を緩和した単価の安いサービスへと移行した。

また、通所型サービスについても、これまでの利用者のほぼ全ての方が、介護予防通所介護相当サービスに移行しており、サービスの低下には至っていない。

## 【病院事業局企業会計】

**問** 病院事業局の予算は前年度決算を反映したものではないが、各施設長をはじめ、その実態を全職員間で共有できているのか？

**答** 確かに事業費用を補填できるように収益を計上している。

施設長等会議の内容は、共有システムにより全職員に向けて発信しているが、内容が明確に伝わるよう改善を図る。

**問** コンサルタントの導入による費用対効果はどのような状況か？

**答** 現在、東和病院および大島病院の収益改善に向け、重点的な対応を行っているが、橘病院については損失を発生させている。

医業収益を上げることによ

り、3病院、2老健、1看護学校を堅持していきたいが、全てを維持し続けることは困難であると認識しており、周防大島町および病院事業局の状況を踏まえたうえで、今後の方向性に関する検討を行ってまいりたい。



健康福祉部福祉課の審査